

琵琶に磨白

■松平敬

東京芸術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、松平頼暁、高橋悠治、近藤譲、西村朗、中川俊郎、川島素晴など150曲以上の作品を初演、クセナキス、シュトックハウゼンなど、演奏至難な作品の日本初演も行う。サントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場などに出演。ソロCDとしてこれまで、『MONO=POLI』（文化庁芸術祭優秀賞）ほか3枚のアルバムを発表。チューバの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義としても2枚のCDを発表。2019年には著書『シュトックハウゼンのすべて』を出版（ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞）。



©Lasp Inc.

■久保田晶子

平家物語などの“語り”演奏を基本に、琵琶ならではの表現を求め国内外で積極的に活動。民話や落語を原作としたオリジナル曲も作詞作曲、演奏し好評を得ている。“琵琶二人語り”や人形芝居とのコラボレーションなど、新しい表現にも挑戦。日本音楽集団やアンサンブル室町など現代邦楽アンサンブル団体でも活躍。2016年ブリュッセル、2018年ケルン、2020年上海にて武満徹作品（「November Steps」「秋」）のソリストとして現地オーケストラと共演し、次世代ソリストとして期待されている。2019年第56回琵琶楽コンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。

